



Roche ロシュグループ

# 野村インベストメント・フォーラム 2009

中外製薬株式会社  
代表取締役社長 兼 CEO  
永山 治

2009.12.01

# 将来見通し

---

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

# Sunrise 2012 達成とさらなる成長へのステップ



# トップ製薬企業への取り組み(2009年)

## 研究開発

- ☆研究開発の基盤強化
  - ・創薬研究技術の強化
  - ・新領域での開発進捗（糖尿病領域、中枢神経系領域等）
- ⇒臨床開発の充実
  - 9件の国際共同治験を実施中
  - 新たに4プロジェクトがP1入り

## 生産

- ☆開発・生産体制の再構築
  - ・製薬本部の新設
- ⇒グローバル競争力の向上を目的とした開発～生産の一貫体制（コスト、スピード、品質）

## 営業

- ☆営業体制の専門性強化
  - ・プライマリーユニットを新設、オンコロジーユニットとの2ユニット体制へ
  - ・がん専門MR数の増強（500→550人）
- ⇒各領域における製品政策実行力を強化

## 安全性

- ☆安全性管理体制の強化
  - ・信頼性保証本部を再編、信頼性保証ユニット、医薬安全性本部を新設
- ⇒安全性情報の医学的評価を充実させ、医薬品育成における安全性機能を強化

各機能の実行力向上

# がん領域のトップ製薬企業として

がん領域のリーディングカンパニー\*として、  
革新的で有用な医薬品と情報の継続的提供と標準治療普及に貢献

★日本のがん医療を世界水準に

2009年10月1日

「一般社団法人

中外Oncology学術振興会議」設立



通常の企業活動を超え、日本のがん医療の  
基盤構築と今後の進歩への貢献を目指す

【主たる活動内容】

- ・ オンコロジーフォーラムの開催
- ・ がん研究助成活動

★ブランド広告活動



がんに立ち向かう患者さんに  
希望をお届けするのも、私たちの仕事です。

私たち中外製薬は、革新的な医薬品の研究開発・生産・情報提供はもとより、患者さんやご家族、医療関係者に向けたセミナーの開催、最新がん医療の紹介など、さまざまな支援活動を行っています。

がん医療の最前線で、ともに。  
中外オンコロジー

がん情報ガイド <http://gan-guide.jp>

ONCOLOGY (オンコロジー) は、医療者・がん研究を指す言葉です。

at the Front Line  
CHUGAI ONCOLOGY

★患者さん向けがん情報サイトの開設

URL: <http://gan-guide.jp>



★リレーフォーライフへの社員参加



\* 2008年よりトップシェアを確保 5

# 2010年の考え方

## 業界全体の影響要因

- ・ 政権交代  
医療費全体の配分見直し  
長期収載品の価格引下げ / 新薬価制度  
成長戦略としてのライフサイエンスへの期待
- ・ 2010年度薬価改定
- ・ 後発医薬品との競争（2010年問題）



## 当社業績への影響要因 ポジティブ／ネガティブ

### ◆新製品の市場浸透

アバスチン、ハーセプチン、タルセバ、  
ゼローダ、アクテムラ、ペガシス、コペガス

### ◆アクテムラ

海外市場での成長機会

### ◆開発パイプラインの充実

### ◆タミフル（備蓄状況）

### ◆エポジン競合品の上市予定

### ◆市場拡大再算定の可能性

# お問い合わせ先

## 広報IR部 IRグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : [ir@chugai-pharm.co.jp](mailto:ir@chugai-pharm.co.jp)

担当：内田、前田、清水、時田